

先日の札展開を振り返ってみましょう。この日は初学者向けの暗号戦法を使って、ブレない解釈をというテーマでしたが、Sさんはもうキャリアが十分だったので、暗号を用いず、とりあえず出目で判断される方式で札を出して頂いておりました。「今後」がいつなのか等あらゆる占的が、後付けになる解釈法ですね。

慣れてくれば皆さんこうして後付けの解釈を自然に読み解かれますが、結局出目に振り回されてしまう人も多くなるので、井上は授業の中では、必ず占的は明確に、特に主体 WHO といつ WHEN の 2W は明確にとお伝えしています。

出目は下記 3 枚でした。ご覧になり、「自分たちご夫婦のことでしょう」と占断して頂きました。2017年9月23日のタロット展開



3 切り札

1 現状

2 今後

現状「皇帝」は、**統治、経歴、神聖かつ平和な力、外敵に対する力、自立、社会貢献** 等のキーワードをもつ札ですね、長く連れ添ってこられたご夫婦関

係の歴史をかいまみつつ、ご家庭を主婦として守ってきた S さんの世界にポンと入ってきたご主人の大きな存在が感じられるところです。

その延長線上に「正義」。**批判精神、断罪、法が問い直される、天の裁きにゆだねる、正義の女神の後押し**等のキーワードをもつ札ですね、あれあれ、ちょっとギスギスするかな？ 何か現状でお金、相続、愛人・・・など法律がからむような問題を抱えていらっしゃる場合は、それが手に負えなくなる暗示でもあります。

他方そうでない場合は、おたがいに新たなルールでもって家庭内、夫婦といえども独立したひとりの人間として自分は自分というスタイルで、距離を置いた夫婦の在り方を確立していくのかもしれないね。

それにしても、批判精神というのはもうどこのご夫婦にもわきあがるもので、みなさんなんかからあれこれお声を聴きます。たとえばご夫婦で同じ職場でお仕事をされている方などは、仕事が終わって夕食を済ませた後は完全に別室で過ごすとか。週に1、2日は24時間いっしょもありでしょうが、誰だって365日ひとつ屋根の下でとなると、これは結構大変ですよ。定年退職された後のご夫婦からの、たがいに批判精神を向けあいがちなお声も頂きます。実際にノイローゼ気味になってしまうお方などもおられます。が、こちらの出目ではそういう心配はなさそうですね。

今まではどこか「二人三脚」のイメージで、ともすればご主人様の都合や社会的な立場に合わせて、奥様が合わせてバランスをとってきたことでしょう。何と言っても日本社会では妻は奥の人ですからね。これからは奥の人ではなくてOK、新しい夫婦のルールで人生を切り盛りしていかれるのですね。

切り札が「吊るされた男」。ここが肝心です。今後の位置にどんな札が出ていようと、それはあくまでも現状の延長ですから、今ここで切り札を使うことに

よって今後の札を変えうるキーカードです。

今回は逆位置で出ていますから、これを使う必要がないとも解釈できます。

「吊るされた男」は**裏切り者、反逆者、現状を受け入れている、自分を一時停滞、ベンディング、苦行苦難を乗り越え新境地に、従来のスタイルややり方を変える**等のキーワードをもつ札ですから、もしもご主人様と前述のような相いれない深刻な問題を抱えているような現状でしたら、とてご自身の本来の生き方を変えることができずその葛藤をどうしたものかという解釈にもなり、「正義」の時点で別居や離婚という解釈もありとなるでしょう。

なんだかとても人間関係の本質を、垣間見る展開ですね。友達どうしでもビジネスパートナーでも、対する相手それぞれに自分の中で自然に「これだけは」という一線が出来上がるものか多々あるかと。その線を越えない限りは、時に妥協して、おたがいに相手に合わせて関係を維持していけるものです。

夫婦の場合は一つ屋根の下で、「もう一緒にいられない！」という確信に至った時には、誰が何を施してもダメでしょう。わたしなどは何とか結婚 10 年を経過しましたが、まだまだいつどんな確信に至るものかと冷や汗感じる時もあります（笑

今回の出目からは、家のこと、ご主人のことは、もう頭から抜いて、現職占い師としてお仕事に専念していく S さんがほうふつとします。しっかりとした会社で契約書も交わされて活躍されていらっしゃるのですから、Keep going ですね。

「皇帝」も過去を見ていて、今の充実はこれまでの努力があつてのこと！とある意味満足されているようにも見受けられ、また皇帝さんなりにご自身のこれからの人生を模索しているようでもあります。

なんて、こんなところが井上の解釈でした。いかがでしょうか？

草々